

月刊 おかじょうき

おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2025

6

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 5 月例句会	19
十和田たてがみ川柳会 4 月句会報	25
Infomation	28 ～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！
というあなたへ

2 月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PC とプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すれば OK です。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することが出来ます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することが出来ます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3 モノクロ 1 ページ：約 20 円／ A3 カラー 1 ページ：約 100 円
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むせし

この原稿を書いているのは、締切少し前の5月12日。
「川柳ステーション2025」が二ヶ月後に迫っている」と私の脳のどこかが唸っている。

「おかポキ」公開録音、ハプニングがあるんだろうな。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

泣きながらゴジラのフィギュア孫にやる 舟木小柳
告白を受けたとたんにメデューサに 嵯峨山登
クレバスに落ちて目醒めたユキノシタ 高木まあこ
胃薬の替わりに春を買いに行く 辻井洋子
あれからはじめのふちに黄水仙 坂本清乃

草むしりできてる 幸せだと思っ 熊谷冬鼓
もう少し光るとたぶん嫌われる 斎藤泰子
野の花の誰か植えたか植えなかったか 吉田州花
あなたがいう私の嘘を曝す夏 笹田隆志
くしゃみ三回まだ駆け落ちの途中 須藤しんのすけ
特例により生かされている私 三浦蒼鬼
いつからか武器は人差し指ですの まきこ
はしゃぐ気になれないのだが桜咲く まみどり
鏡には聞いたりしない明日のこと 吉見恵子
虚無僧に成るには首が細すぎた 戎 踊兵
貸し借りはチャラにしようよチューリップ 渡邊こあき

渡邊こあきさん、「チューリップ」と「貸し借り」

があるようですが、何を「貸し借り」したのかな？どっちが貸してどっちが借りたのかな。「チャラ」にするは、差し引きゼロにすることですね。「チャラ」にできる貸し借りねえ……。そんなことは読者が勝手に想像すればいいと先輩の誰かに言われたことがあるけど、「青空を借りたことがあるんだ」なんてことではないよね（汗）

B群

おはよう朝陽白いご飯を…召しあがれ 安藤なみ
母さんはゴールの近い眠り姫 一帆
みちのくの奥に砥石を待たせてる 亥の一
鍋かこむ蠢くものに蓋をして きささぎ彼句吾
右の手を一度お墓に埋めに行く 夏草ふぶき
パズルを嵌める紋白蝶が手に止まる 奥田悦生
ざらざらな今朝と卵を剥いている 峯島 妙
ひんがしの雲の言葉は訳せます 四ツ屋いずみ
ほとぼり冷めるまで握ってるナイフ 米山明日歌

米山明日歌さん、この句を読んで「東京メトロ南北

線東大前駅のホームで電車に乗り込もうとした20歳の大学生に突然包丁で切りつけケガをさせた」という事件を思い出しました。犯人は「教育熱心な親のせいで中学時代に不登校になって苦労した。世間の親たちに度が過ると子どもがグレて犯罪をおかすようになることを示したかった」と言っているそうです。関係ないですよ。これ、怖い句です。

C群

のぼりつめたところはどじょうのせなか 鳴海賢治
曇天を突くわたしの沼が落ちてくる 芝岡かんえもん
ウミガメの鼻孔 来た来た詐欺メール 守田啓子

鳴海賢治さん、「どじょう」の背中つてつるして登りにくくなかったですか？にしても、「どじょうのせなか」に「のぼりつめた」ってどういうことなんでしょう。ま、それはいいとして、どじょうは「ウナギ1匹、どじょう1匹」と言われて、1匹の栄養価はうなぎ1匹に匹敵すると言うそうですね。賢治さんはどじょうをどうやって食べるのですか。「柳川鍋」か

なあ「蒲焼」かなあ。全文ひらがなで、何だか「どしよう」がいっぱいいるみたいですね。

芝岡かんえもんさん、これって、「曇天を突く」と「わたしの沼が落ちてくる」ということですか？それとも、「曇天を突く」ための「わたしの沼が落ちてくる」ということでしょうか。句は読み手が好きなように読むものだとは先輩に教えられましたが、かんえもんさんがどっちの意味で作ったのか気になります（汗）かんえもんさんの「沼」って、美しいのかな…。

守田啓子さん、「ウミガメの鼻孔」を見たことがあるのですか。「ウミガメの鼻孔」をキーワードにネット検索をしたら「ウミガメの鼻腔内に3つの嗅覚受容機構を発見」空気中と水中のにおいを嗅ぎ分ける仕組みの解明へ」というあるグループの研究結果がヒットしました。これって、もしかしたら啓子さんの言う「詐欺」かもしれない、あるいはフェイクかもしれない、と思っています。にしても、不思議な句ですね。

■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

【会員特典】

- ☐ 月例句会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- ☐ 川柳データベースに作品が掲載されます！
- ☐ 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- ☐ 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社
→会費：4,000 円（1 年分）

おかじょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅5月月間賞

手紙には小鳥が死んだって書いたの

柳本恵子

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

満天に浮かべた船で飛鳥まで
いにしへの奈良の都の雪月花
水無月の陽射しへ飛ばすしやぼん玉
蓮根の穴から垣間見る世相
値崩れを起こしかけてる大統領

先月号の
お気に入り

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ド・ロンサル人の名前で香る薔薇
もう此処は好きな花しか咲けぬ場所
野の花の誰か植えたか植えなかつたか
ヒヤシンスこれからも雪降りましょう
句は果実今日は透け透けを摘んだ

先月号の
お気に入り

あなたはね青が似合ってはいけない
うわーっどっしよう 尾崎良仁

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

地球儀に誰も知らないクロニクル
水仙より春の小径を描いてゆく
鏡には聞いたりしない明日のこと
機嫌良くその日を待てば歎異抄
幻灯が次々流れ 夜もすがら

先月号の
お気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

ひんがしの雲の言葉は訳せます
地軸に引つ張られひだり身の不調
春けむりまるでロッド・スチュアート
誦じる蒙古襲来の伝令
ファーストネームで呼んでみるデコポン

先月号の
お気に入り

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

ほとぼり冷めるまで握ってるナイフ
さりげなく置いてあるのは金ダワシ
立て付けの悪い本日の言い訳
明日にはちゃんと取っ手がついていた
おりあいをつけておつうはお酢になる

先月号の
お気に入り

あなたの息を吐く靴下の穴も きさきさ彼句書
と、いつことは 他のもも息を吐くんですね。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

おはよう朝陽白いご飯を…召しあがれ
限界を超えたノコギリの歯噛み
泥の川澄んで帰らぬ人の顔
満汐は河口へ水を飲みにくる
裏表逆ではないと青パンツ

先月号の
お気に入り

「一日分の野菜」本日三本目 須藤しのすけ
缶もパックもあります、時には重宝しますがほんとかし
ら。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

焦げくさい話になったクロッカス
あくびでる浅い眠りの黄水仙
リラ冷えの街に昨日の君がいる
貸し借りはチャラにしようよチューリップ
ヒバ匂う昼寝のできる暖かさ

先月号の
お気に入り

踏ん張っているのか路のとう 一帆
大雪の消えた我が家の庭にも踏んばった露のとうが…。

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

母さんはゴールの近い眠り姫
今生を遊び尽くして月になる
踏んづけて踏んづけられて月見草
日曜日妻とは違う虹をみる
桜さくら満開だから雨予報

先月号の
お気に入り

引き算をしながら鶴を折っている 芝岡かんえもん
これからは私もそうします。

亥の一【いのいち・青森県青森市】

三無主義米が無くてもデモもせず
みちのくの奥に砥石を待たせてる
欄外に専業主婦と一角獣
三叉路で考え抜いた末ジャンプ
心では握手なんかはしたくない

先月号の
お気に入り

家出にはならない誰もいない家 渡邊こあき
家出は英語ではleaving home かな 日本語の方がパ
キッとしてるけど、誰ももういないんだね

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

局面にゴクンと飲むわ生タマゴ
水仙のフリル乱切りイチヨウ切り
わたくしの今を咲きゆく黒揚羽
25時ローズマリーは黴臭い
身八つ口何を消去してはるの

先月号の
お気に入り

戒踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

黒皮の手帳は地位を譲らない
ちよつとだけ長い右手で箸を持つ
コキコキと首を鳴らして取る間合い
虚無僧に成るには首が細すぎた
新月の端から落とす星の音

先月号の
お気に入り

死にそびれても生きそびれてもない朝 Sin
うぐむ、今日の納豆はカラシではなく、ワサビにしてみ
よう。

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

パズルを嵌める紋白蝶が手に止まる
朝露に濡れて輝くヤマザクラ
しがらみが邪魔して今夜眠れない
男と女いつの間にやら入れ替わる
熱帯魚が東京湾を埋め尽くす

先月号の
お気に入り

先ずお湯を沸かしてからの時間割 熊谷冬鼓
先ずはレモンの湯割りを読んで…

尾崎良仁【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

河へ突っ込んで行くヌーとギャル達
万引きの鉛筆で書く嘆願書
ハグはしません船橋市民なので
涙とは違う模様が流れ出る
刺されてもいい六月のレッドムーン

先月号の
お気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

鍋かこむ蠢くものに蓋をして
多重括弧で覆うキリリと帯締めて
本題から逸れる月に酔わされて
それでいいのかと過去が呼び止める
筆順通りだつたくちづけまでは

先月号の
お気に入り

ふちどりにあなたのことばちりばめる 渡邊こあき
母のことばにふちどられて育った…気がする

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

天を指すプラトンとして敗北す
黒船に取り囲まれる春の鴨
春泥を嫌う人達「減びるね」
島国や大転換を残る鴨
春愁い子のアパートに棲もうかな

先月号の
お気に入り

ペッペッペッ又ヒトに人喰わされた きさらぎ彼句吾
喰って喰われて…ですね。

熊谷冬鼓【くまがえとうこ・青森県青森市】

いずれくる限界やらを遠巻きに
そりやそうよやれることしかできません
ピーラーが素知らぬ顔でいてくれる
折りたたむ今でなくてもいい言葉
草むしりできてる 幸せだと思ふ

先月号の
お気に入り

ともだちはいないリングはふたつある 鳴海賢治
しばらく連絡してなかった旧友に電話しました

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

もう少し光るとたぶん嫌われる
腐葉土になれるだろうか雑誌帳
追っちや駄目それは逃げ水なんだから
春暮れるみんな悪人にはなれず
遅咲きの桜と話長くなる

先月号の
お気に入り

遠回りしていいこう あなたの弱さまで
そうしていただけたら助かります。 S i n

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

スミレタンポポ熊の胃袋満たされず
頑張りを掘つても濁る女偏
あれからはじめのふちに黄水仙
乾涸びた前頭葉を持つて居る
彼や是やふん別つかずの一日

先月号の
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

告白を受けたとたんにメデューサに
葉草は月の涙で咲いた花
地獄からサンチヨになつて父帰る
マクベスの手垢のついた千羽鶴
基本的人権というフィクション

先月号の
お気に入り

信頼を取り戻すため春は舞う
あぁ、だから桜はあなのだ、と思いました。 守田啓子

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

萎びれて私のなかの不等式
あなたがいう私の嘘を曝す夏
断捨離を諦めようと紙風船
サイネリアに咲くか咲かぬか訊く扉
これよりわたし畜生道に二泊する

先月号の
お気に入り

眠れない夜 海を彷徨う羊
最近眠れない夜はなくなりました でも私は羊でなく
カバです 守田啓子

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

難読の女のページ破り捨て
ドボルザークの言いなりになる春である
ケダモノを冷ましています耳たぶで
俺のこと仕立て直して出してみる
曇天を突くわたしの沼が落ちてくる

先月号の
お気に入り

背泳ぎでやって来たのは春でした
背泳ぎがいいですね。そんな春なら楽な気がする。 守田啓子

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

習い事さぼつていこう一人旅
元氣になれそうフランスカンヌ旅
エイヤツと異次元の空飛んでみる
有言実行モットーにして生きる
パスポートまだまだ行きたい国がある

先月号の
お気に入り

本命はいない仲好しチヨコばかり
右に同じ。今年こそ、恋を試してみたいなあ。 葉閑女

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

ひとりして蠶を食う女あり
くしやみ三回まだ駆け落ちの途中
真夜中のメール深読みして捨てる
舌先でわかる水深と水圧
初めての戦争「バナナはオヤツじゃありません」

先月号の
お気に入り

信頼を取り戻すため春は舞う
必死に舞う春と全てを忘れただ舞う春。どちらの春も大
好きです。 守田啓子

高木まあこ【たかぎまあこ・青森県黒石市】

クレバスに落ちて目醒めたユキノシタ
すなおくんさよならサヨナラスナオクン
捨てないでまだまだ捨てたもんじやない
胃が痛い御守りだもん仕様が
アカゲラよ突いてみたまえ我が魂

先月号の
お気に入り

錆びついた脳を取り出し煮沸する
私は何とかして取り替えたいです。 夏草ふぶき

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

メルヘンの森から出られない孤独
あと少し念じ続けりや開く花
坂の名に沁みる郷里のヒストリア
バランスを保つ野心と夢の線
やさしさも君のためなら鬼になる

先月号の
お気に入り

折れそうで折れない老いた鬼のツノ　むさし
角は鬼の生命線。老いても角があるうちは鬼。鬼の気迫
が感じられる。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

まだ余力底辺に残ってるらしい
ララララシオランの風野望宣言
クマムシの神秘どこまでいきますか
お人好し似た者同士お茶してる
ジグザグに桜トンネル掻き分けて

先月号の
お気に入り

先ずお湯を沸かしてからの時間割　熊谷冬鼓
ゆっくりと過ごせそう、癒されます。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

かなしみはするめの耳をかじるとき
ぞうきんをかわかしている星くずよ
ちかいしようにらいあなたのものはボクのもの
のぼりつめたところはどじょうのせなか
スコアボード完成クマのあしあと

先月号の
お気に入り

かけうどんすすって応え探してる　坂本清乃
素直さがよかった。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

忍び足午前三時に来る新聞
会計で動悸が起こるクリニク
パプロフの犬になります祖母の梅
泣きながらゴジラのフィギュア孫にやる
「数量」と「季節」限定上手いよな

先月号の
お気に入り

煮え切らぬ男　水抜きしちやおつか　葉閑女
ドキン！　いつまでも煮え切らぬ私の水抜きもお願いし
ます。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

チリチリと痛いきのうのさようなら
落ち込んだ今日をズドンと撃つておく
ライオンになれそうだから外に出る
果汁十パーセント綺麗は綺麗受け止める
胃葉の替わりに春を買いに行く

先月号の
お気に入り

星占いいいとこどりをしています　渡邊こあき
ポジティブで、いいね。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

空っぽが好きでクルリと裏返る
パン食にしますとオズの魔法使い
米を研ぐ同時に闇夜も研いでいる
右の手を一度お墓に埋めに行く
年を取るとベッドが優しくなってくる

先月号の
お気に入り

土下座しながら夕飯の支度する　尾崎良仁
何をしたのでしよう、気になります。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

偽物の笑顔でこの世渡りきる
いつからか武器は人差し指ですの
魔法使いに化けてみせましょいいかしら
暗がりも幽霊くんも好きですが
キッパリとお断りします割り勘は

先月号の
お気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

はしゃぐ気になれないのだが桜咲く
待ちすぎて意気消沈のがらんどろ
わくわくを詰めなきや秘密らしきもの
欲ばりはしないわ2つ3つほど
発酵か破裂か選ばせてあげる

先月号の
お気に入り

居眠りで終わった一日あいっえお　坂本清乃
そんな状態が続いています。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

放課後は星を数える人になる
わたくしを入れる貸金庫を借りる
全否定してから一日を終える
壁ならば話せばきつとわかるはず
特例により生かされている私

先月号の
お気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

ため息でつなぐ渋滞のルビー
基礎英語年別に四月号
制服の二センチほどの宇宙観
ざらざらな今朝と卵を剥いている
スイッチを切ればあなたを締め出せる

先月号の
お気に入り

懐メロのサビ繰り返すウオーキング 熊谷冬鼓
ブルで同じことをしています。八枚切りの食パンとい
い双子のようです。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

奇人変人あともう一品として
めっちゃラク！の看板ここは水の村
箸か恥、端かもだけど神田橋
星々の毒舌山を食いつくす
パレードしようぜ三日月旗にして

先月号の
お気に入り

妖しを弾き込み野ぶどうの橋 吉田州花
妖を曲に弾き込めるってすごい。そして野ぶどうの原つ
ばで逢引き！ロマンチックだなあ。

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

ゴミ箱から声没句が座談会
風の無い今日は心に堆肥撒く
胡散臭い人間じゃない自信あり
今朝もまた老いに挨拶して訓練
まだ前を走るなりたかった自分

先月号の
お気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

トランプもプーチンもう消えちまえ
嫌になるあの手の手の詐欺事件
万博どころじゃないトランプショック
白線と新入生が眩しい春
嬉しくない値上げラッシュの春が来た

先月号の
お気に入り

ジョーカーも後期高齢なんだって むさし
そうなんだね。若い人いないものね

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

おもちという名で働いているイルカ
あずさって呼んでください踊ります
ウミガメの鼻孔 来た来た詐欺メール
やれやれと久慈良餅食う脱皮する
こんなにも会いたいタコの吸盤

先月号の
お気に入り

つぎはぎの剥がれて夜がパンドラる Sin
嗚呼もう終わりそしてそこから始まり

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

プカプカと浮いて時々都都逸も
振り返ればさつきまでいた沼の黒
走れメロス 我も一人で走るゆえ
P・S・一匹オオカミの遠吠え 桜雨
パンジージャンプ紐も確かめずに飛びました

先月号の
お気に入り

あきらめて 空洞一つ生まれたの 吉見恵子
そんな日もあります。うまくやり過ぎて。

むさし【むさし・青森県蓬田村】

おっさんのパンツの中の銀閣寺
マツチングアプリって洗えば食えますか
指先をモカの香りで濡らしてる
満開の桜の吐息抹茶ラテ
ベッドから降りると月の海だった

相づちを
打っているのは

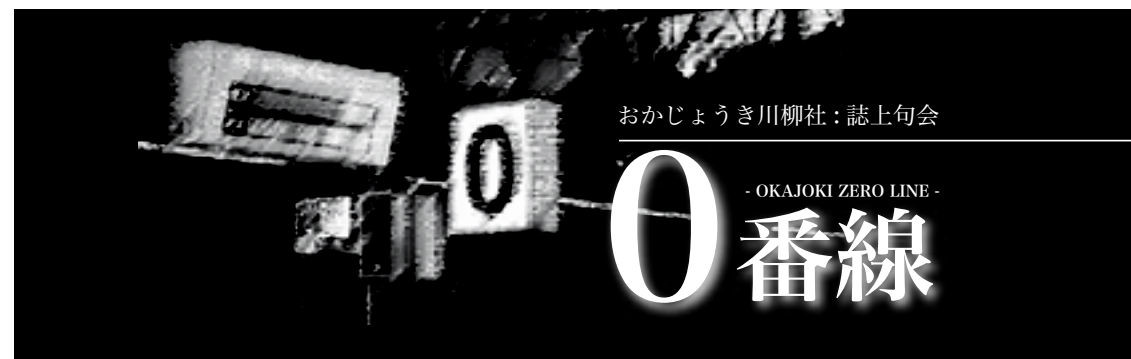
5月3日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(17名)

夏草ふぶき・野沢省悟・守田啓子・きさらぎ彼句吾・熊谷冬鼓・
舟木小柳・高木まあこ・葉閑女・田中薫・一帆・吉田州花・
Sin・むさし・亥の一・渡邊こあき・須藤しんのすけ・笹田
隆志

▼投句者(18名)

米山明日歌・安藤なみ・戎踊兵・綺星柳皇・芝岡かんえもん・
奥田悦生・峯島妙・村上あつこ・鳴海賢治・柳本恵子・郷
田みや・宮井いずみ・坂本清乃・村井規子・まみどり・ま
きこ・岩根彰子・城後朱美



課題と選者(2句詠・共選)

題：『金』

7/31 〆切

選者

妹尾 凜 (秋田県)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料(※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

席題『髪』

青森県青森市 野沢省悟選

【佳作】

朝起きる髪がなくても顔認証

笹田隆志

髪形を誉めてた人を妻にする

舟木小柳

前髪に不正アクセス恋かなあ

守田啓子

ワタクシの青写真はおかつぱのまま

田中 薫

ポニーテールほどこいて友だちをやめる

夏草ふぶき

桃割れも鬘も乱れるジェンダーレス

一 帆

髪も爪も切つてもエゴはすぐ伸びる

きさらぎ彼句吾

信長のちょんまげつけた金魚売り

む さ し

ピンヒールだったカーリーヘアで夜が明けた

吉田州花

おさげ髪だった無口な枝だった

熊谷冬鼓

ふれないで痛み知らない髪だもの

高木まあこ

髪を切る頭に湯気がこもるから

亥の 一

髪とおでこの境界線のような春

S i n

黒髪をくしけずる児の地平線

笹田隆志

たてがみを干す天の香具山に干す

守田啓子

【秀逸】

何故だろうやさしさを結う髪が無い

高木まあこ

髪結いの亭主になれぬスズメ蜂

舟木小柳

掻きあげる黒髪確信犯だろう

熊谷冬鼓

【特選】

何か足りないの白髪にもなれぬ

高木まあこ

『ヒトは白髪になるためにもそれぞれの歴史が必要。白髪にもなれぬは悔恨。』

席題『髪』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

髪が決まった急に逢いたくなり困る

吉田州花

決まらない髪改札をひき返す

渡邊こあき

襟足を揃えて嘘も揃えて

S i n

前髪に不正アクセス恋かなあ

守田啓子

たてがみを干す天の香具山に干す

守田啓子

信長のちょんまげつけた金魚売り

む さ し

カツラにもトランプ関税かけている

野沢省悟

わがまま言うとか心に髪が生えますよ

む さ し

きみって疑問符だらけのロングヘア

きさらぎ彼句吾

三つ編みを結ぶ「離婚伝説」聴きながら

須藤しんのすけ

枯葉つもらせ齡は重なる髪の銀

吉田州花

何故だろうやさしさを結う髪が無い

高木まあこ

髪とおでこの境界線のような春

S i n

ウィッグはつけたし後は吠えるだけ

む さ し

掻きあげる黒髪確信犯だろう

熊谷冬鼓

【秀逸】

ワンランク上の白髪が生えてきた

野沢省悟

臨終と主治医に言われ髪洗う

舟木小柳

何か足りないの白髪にもなれぬ

高木まあこ

【特選】

おさげ髪だった無口な枝だった

熊谷冬鼓

『無口な枝の頃にお会いしてみたかった。』

宿題『干す』

青森県蓬田村 むさし 選

【佳作】

体温を干したら花が咲きました
 風に煽られ勝負下着が飛んでいく
 職場では僕がみんなを干している
 湿った思い出は陰干ししておこう
 渋柿を干して閑税気にしてる
 春うらら陰干しにする嫉妬心
 天の川のほとりへ干しに行くシート
 飲み込んだ言葉ときどき干している
 干していた舌が突然喋り出す
 天日干しした失敗が発芽した
 玄関の枯れた花から警告音
 65歳半生ですが干物です
 干しても干しても吠え続ける昨日
 一夜干しすればいいのよ生返事

綺星柳皇
 奥田悦生
 舟木小柳
 村上あつこ
 舟木小柳
 葉 閑女
 宮井いずみ
 米山明日歌
 戎 踊兵
 村井規子
 夏草ふぶき
 芝岡かんえもん
 米山明日歌
 郷田みや

ベランダに涙を干した痕がある
 また化けるつもりで干している鎖骨
 桜は散るし干すものないしひとりだし
 竿屋竿竹干される役を奪い合う
 たましいを干して能面できあがる
 干からびた洗濯物の愚痴を聴く
【五客】
 杯を干す友の欠けたる世に生きて
 禪にしている神様を干して
 干からびた性善説を添えられる
 一言も言い返せずに干すザ・ワ・ワ
 鰓呼吸ばかりしているドライアイ
【人位】
 今宵満月烏賊に差し込む指を干す
【地位】
 諦めきつた後ろ姿はもう枯れ葉
【天位】
 干しておいた青空行方不明です、
 『干し草』の小屋で何してたのかなぁ。

峯島 妙
 米山明日歌
 守田啓子
 S i n
 野沢省悟
 熊谷冬鼓
 きさらぎ彼句吾
 須藤しんのすけ
 まきこ
 きさらぎ彼句吾

宿題『乗』

青森県青森市 笹田隆志 選

【佳作】

子ども用吊り革無くて立っている
 産道に早い遅いと乗車拒否
 余生ですけど乗りますか降りますか
 火葬後は何にどう乗りあの世まで
 助手席で溺れる癪を見抜かれる
 乗りごこち確かめている救急車
 かも知れぬかも知れないとバスに乗る
 墮落の端に2ケツする二人
 波に乗るそんなつもの無い小石
 さて春に乗って天辺まで来たけれど
 咳ひとつ乗車券にもマスクする
 乗りました卵とじうどん2つ
 乗り換えはあなたの心訊いてから
 車酔いするのでロデオしています

安藤なみ
 安藤なみ
 綺星柳皇
 村井規子
 S i n
 渡邊こあき
 野沢省悟
 S i n
 戎 踊兵
 田中 薫
 一 帆
 岩根彰子
 奥田悦生
 まみどり

路線バス乗っているかもテロリスト
 特急に給与年金乗り遅れ
 ミサイルをそのまま乗せるのつけ井
 物価高便乗してる露天商
 乗り合いの縁を絶ち切るスマートフォン
 ゼロの二乗でもいい枕詞でもいい
【五客】
 おだてにはめつぼう弱い空財布
 乗り換えるひとりとぼっちの旅になる
 ヨッコラショとバスに乗る人笑えない
 時刻表疑わず待つ春おぼろ
 雲にのるおとことおんなあす仕事
【人位】
 土足禁止の孫の愛車に乗せられる
【地位】
 キリンにも象にも乗れずサクラ散る
【天位】
接続詞置いて静かに出る小舟
 『接続を接続詞としたところが小舟とあ
 わせ妙です。』

舟木小柳
 亥の 一
 むさし
 舟木小柳
 亥の 一
 守田啓子
 まみどり
 夏草ふぶき
 舟木小柳
 熊谷冬鼓
 鳴海賢治
 城後朱美
 坂本清乃
 守田啓子

宿題『自由詠』

青森県三沢市 守田 啓子 選

【佳作】

今日はお終い明日があつた頃
 転た寝で乗り遅れちゃった一ページ
 やれるだけやつても戻れない夕日
 はしたない明日のために君も私も
 空っぽを問い詰めてくる花筏
 みずうみになりたいひととみる夕陽
 便利さはもう輪ゴムにはかなわない
 全敗がしつかり立っている岬
 這わせればホントかどうかわかる嘘
 消毒液遠い昔も消してゆく
 釣り糸ゆらゆら転職しようかな
 耐えるにも限界がある白は白
 枯れたアサガオ夜はいつでも黙秘する
 魂だけで抱きあいたい月煌煌

吉田州花
 坂本清乃
 須藤しのすけ
 S i n
 熊谷冬鼓
 野沢省悟
 吉田州花
 一 帆
 米山明日歌
 柳本恵子
 亥の 一
 熊谷冬鼓
 S i n
 きさらぎ彼句吾

春うらら顔についてる畳じわ
 ここ一の嘘で生き抜く壁の薔薇
 さよならはまだ本気にはなれなくて
 傾いた方から先に筋肉痛
 ぬるぬると黄昏れる街痛む膝
 自称広末涼子と言うヒグマ
 【五客】
 百均で私のパーツが取り揃う
 もうひとつ氷を入れてあふれさず
 ビル街で無臭の春とすれ違う
 夜中に取り替える日記帳の水
 趣味は片思い、特技は割り勘です。
 【人位】
 夜がびつしりと集ったがらんどろ
 【地位】
 つなぎ目が握りこぶしになっている
 【天位】
 相づちを打っているのは夜の水
 『それが「孤独」というものだろうか。』

渡邊こあき
 一 帆
 まき こ
 まみどり
 葉 閑女
 む さ し
 夏草ふぶき
 野沢省悟
 夏草ふぶき
 米山明日歌
 須藤しのすけ
 きさらぎ彼句吾
 郷田みや
 米山明日歌

十和田たてがみ川柳会四月句会

○日時 令和7年4月19日(土) 午前10時から
 ○会場 十和田労働福祉会館
 ○参加者 木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・
 白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高
 田幸柳
 ○投句者 城後朱美

■席題『若い』

村上 昌子 選

【平抜き】

お若いと言われ喜ぶ高齢者
 一斉に命が芽吹く澄んだ風
 努力家の若さ未来の花が咲く
 青春をコーヒーに混ぜ飲んだ仲
 いい加減 若気の至り使えない
 あゝ若さ充電きかず老いた今
 若い人いいね伸びしろ大きくて
 若い頃爺ちゃんモテたと言う話

福田 芳記
 高田 幸柳
 木村奈生美
 斉藤 蛙井
 高田 幸柳
 斉藤 蛙井
 福田 芳記
 佐藤まさあき

【秀逸】
 足腰は痛い夢はまだ若い
 しつけ糸 取れて船出をする若さ
 【特選】
 還暦を若者と呼ぶ過疎の村

高田 幸柳
 瀧尻 善英
 佐藤まさあき

■席題『若い』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

青春をコーヒーに混ぜ飲んだ仲
 若者の漲るパワー見て楽し
 若い頃爺ちゃんモテたと言う話
 若い人いいね伸びしろ大きくて
 お若いと言われ喜ぶ高齢者
 失敗も躓きもある若さゆえ
 いい加減 若気の至り使えない
 若者の積極性に明日が有る
 努力家の若さ未来の花が咲く

斉藤 蛙井
 白山 修治
 佐藤まさあき
 福田 芳記
 福田 芳記
 高田 幸柳
 木村奈生美
 木村奈生美

【秀逸】

自立する若い背を押す春の風
足腰は痛い夢はまだ若い

木村奈生美
高田 幸柳

【特選】
還暦を若者と呼ぶ過疎の村

佐藤まさあき

■宿題『忘れる』

福田 芳記 選

【平抜き】

現役の過去を忘れて心待ち
日捲りの早さ昭和を忘れさせ
忘れたいことほど忘れられぬ事
古傷を忘れたいのにまた疼く
忘れまいあの日あの時あの惨事
ノーマを忘れたように再稼働
忘れてもあなたに残したい笑顔
眠れぬ夜忘れられない人想う
いつか死ぬことを時々忘れてる

白山 修治
木村奈生美
瀧尻 善英
佐藤まさあき
佐藤まさあき

【秀逸】
今日の鬱すべて忘れる風呂の湯気

瀧尻 善英
村上 昌子
齊藤 蛙井
城後 朱美
村上 昌子

政治家の「記憶にない」は職業病

高田 幸柳

【特選】
家事全て忘れて和む旅の宿

木村奈生美

■宿題『詫びる』

佐藤まさあき 選

【平抜き】

詫び入れる文に心の温かみ
袴田氏に総長談話詫びてない
意を尽くし 真摯に詫びて 伝えたい
悪行の数々詫びた遍路傘
年輪を重ね詫び方 上手くなる
手について涙で詫びる浮気者
待ち詫びた両手やつの祝受賞
詫びること知らず友だち居なくなる
逆縁を知覧で詫びた遺書がある

木村奈生美
福田 芳記
白山 修治
瀧尻 善英
瀧尻 善英
福田 芳記
木村奈生美
城後 朱美
瀧尻 善英

【秀逸】
口数で詫びる電話の向こう側
失言を詫びる背中に笑う鬼

城後 朱美
高田 幸柳

【特選】

最期まで詫びてばかりの亡母でした

高田 幸柳

■宿題『脇役』

互選

①誰ぞ知る脇役の汗幕下りる
①目立たぬが脇役光る燐し銀
①脇役が目立ち過ぎてる裏メニュー
③脇役の妻が支える家事雑事
⑤朝ドラの主役を照らすいぶし銀
⑤名演技いづれ主役になるだろう

齊藤 蛙井
佐藤まさあき
高田 幸柳
木村奈生美
村上 昌子
瀧尻 善英

◆十和田たてがみ川柳会6月句会案内◆

【時】6月21日(土) 午前10時から
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『家』村上昌子選／『忙しう』齊藤蛙井選 【互選】(一句詠)『ういよ』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当日発表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸柳宛



□ 2025.08.31 『満天の星』第3回誌上川柳大会

【課題と選者】(各題2句・未発表で参加者オリジナル作品に限る)『歴史』小沢史・西沢葉火共選 / 『おかげさま』宮井いずみ・月波与生共選【投句方法】①葉書・封書で郵送(用紙自由・住所・お名前・電話番号・メールアドレス記入)②メールでの投句も受け付けます(件名に「第3回誌上川柳大会」の記載をお願いします)【投句料】1口1,000円(定額小為替・現金・振込・切手不可)振込先・・・ゆうちょ銀行 記号18470 番号26946011(ナラヒロシ)※1人何口でも応募できます(会員・誌友は1口無料)【締切】2025年8月31日(消印有効)【発表】「満天の星」第7号に掲載(ご投句者全員に柳誌贈呈)【賞】選者ごとの特選賞として青森県産りんご1ケース【投句先】〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大鰐川辺11-25 月波与生 Mail:tukinamiyojyo@gmail.com 【問合せ】投句先までお問い合わせください【主催】満天の星 後援(一社)全日本川柳協会

川柳の大会情報をお寄せください。

□ 2025.06.29 川柳「風の会」『風紋』誌齢四〇〇号記念の集い

【日時】令和7年6月29日(日)受付:12時 投句締切:13時30分【会場】サッポロビアレストラン910(青森市古川2丁目)3階宴会場 電話017-775-9100【会費】5,000円(発表誌含)【宿題】各題2句詠・投句拝辞「和」三浦清雪選「美しい」葉閑女選「寄る」濱山哲也選「木」高瀬霜石選 席題:なし 呈賞:各題共特選賞・初声賞 ※大会準備の都合上参加希望の方は6月25日(水)までに次へ申し込んで下さい。【申込先電話】017-739-7137 または090-5593-6953【主催】川柳「風の会」

□ 2025.07.01 第76回一朶の雲 まつやま川柳誌上大会

【募集期間】令和7年6月1日(日)～7月1日(火)消印有効【課題・選者】(各題2句・未発表の作品に限る)『もっと』松山 斉藤美恵子・大阪 くんじろう共選 / 『ネット』今治 川上ますみ・石川 岡本聡共選 / 『比べる』三重 青砥たかこ・福岡 梅崎流青共選 / 『顔』青森 北山まみどり / 鳥取 新家完司共選【投句方法】○未発表作品に限ります。各題共選ですので両方とも同じ句を書いてください。○所定の投句用紙(コピー可)を使用し、参加費とともに送付先へお送りください。【投句料】1,000円【送付先】〒799-3121 愛媛県伊予市稲荷537-17 山内もところ方「第76回一朶の雲 まつやま川柳誌上大会」係あて

□ 2025.07.31 第一回アンジェリカ川柳大会(完全オンライン)

【課題・選者】二句詠『白』兵頭全郎(大阪) / 『香』真島久美子(佐賀) / 『肌』八上桐子(兵庫) / 『舌』飯島章友(東京) / 『音』Sin(青森) / 『雑詠』笹田かなえ(青森)【投句料】1,100円 川柳アンジェリカWEBサイトからオンライン決済(クレジットカードまたは銀行振込)現金不可【投句方法】川柳アンジェリカWEBサイトから投句フォームで投句【結果発表】川柳アンジェリカサイト特設ページにて上位句の発表・2025年9月中旬以降を予定 / 投句者リターン: 披露動画・選者ご出演の動画リンク、全結果PDFをメール添付にて送付【呈賞】各選者特選6名にAmazonギフト券5,000円【投句・投句料受付・連絡・問合せ先】川柳アンジェリカWEBサイト <https://www.senryu-gelica.com> →「川柳アンジェリカ」で検索

■会費拝受【4月受付分】

川嶋翔・柳谷たかお（以上青森県）

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆さて、今年の「川柳ステーション 2025」だが、ポッドキャストだけではなく、宿題でもちょっと挑戦的な試みを施してみた。大会案内では「自由詠 6 句を用意してください」とあると思うが、すべて題は自由詠。当日発表される 3 人の選者に 2 句ずつ振り分けて投句するというシステムである。もちろん、同じ句を違う選者に投句してはいけない。①～⑥のどの句をどの選者に出すのかを楽しんでもらおうという企画である。A の選者に出した句がボツになったが、もしかしたら B の選者に出していれば天位だったかもしれない（そんなことはないだろうが…笑）。その違う世界線の答えは誰にもわからないのである。そんな正解のない答え合わせを懇親会の席でも話の種として楽しんでほしい◆世界線といえば、いまネット配信サービス「Netflix」で配信されている草薙剛主演の「新幹線大爆破」を観た。物語は新青森駅から始まるので、青森の皆さんは構内の風景などでも楽しめると思う。ここからはネタバレになるかもしれないので、これから観ようと思ってる方は注意してほしい（笑）この映画も面白い試みで、50 年前に上映された高倉健主演の

「新幹線大爆破」の世界線上で 50 年経った世界を描いている。簡単に言うと、1 本目の映画で犯人の高倉健が新幹線に爆弾を仕掛けるのだが、その爆弾は新幹線の速度が下がると爆発するという代物で、新幹線を止められないスリルが醍醐味の物語だが、2 本目は 50 年後、その事件を模倣して 100km 以下になると爆発する爆弾を犯人が仕掛けるという設定の物語になっている。劇中のセリフでも「50 年前の事件と同じだ」と世界線がつながっていることを示す場面がある。50 年前の作品と違うのはやはり CG や VFX をふんだんに使った迫力ある映像が見どころでもあるのだが、50 年前の映画もなかなかの迫力で、（へー、50 年前でもこんな映画作れたんだ）と驚くぐらいである。そして、その犯人と 50 年前の事件との繋がりは果たしてなんなのか、それは観てのお楽しみということで、このくらいにしておく（笑）◆川柳でも、創作であるなら、こんな世界線を利用した遊びが出来ないか考えているが、どうしても単作だと物語性が弱くなるので、数年前の無人駅の作品群を使って世界線を楽しんでみようかと思っている◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.06.07 おかじょうき川柳社本社 6 月句会

【日時】6 月 7 日（土）午後 2 時～【所】アウガ 5 階小会議室【投句締切】6 月 6 日（金）15 時【宿題】（各題 3 句詠）『眠る』『派』『自由詠』『席題』1 題 3 句詠・2 人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『バケツ』1 句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.06.18 「川柳吟行会ば」 吟行・合評句会

【日時】令和 7 年 6 月 18 日（第 3 水曜日）吟行後 14 時～合評句会【吟行・集合場所】青森市中央埠頭（柳町通を海へ）東屋に 11 時集合【合評句会】14 時～アウガ 5 階（作句数 3 句・参加費 100 円）＊陸奥湾を広く見渡し、潮風を感じながら作句します。どなたでも自由に参加できます。

□ 2025.06.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5 句

【締切】6 月 20 日必着【提出】雑詠 5 句、お気に入り 1 句（最新号からお好きな作品 1 句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】8/1 発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.07.05 川柳ステーション 2025

【日時】令和 7 年 7 月 5 日（土）13 時受付【事前投句】2 句詠・二人共選・6 月 25 日締切（[投句フォーム](#)あり・欠席投句拝辞）『声』むさし・Sin 共選【宿題】『自由詠』6 句をご用意下さい。当日、参加者から選者を 3 人発表しますので、それぞれの選者に 2 句ずつ提出してください。句会後おかじょうき川柳社・Podcast《おかボキ》公開録音！があります。お楽しみに！！【場所】リッチモンドホテル 5 階ブリリアンテラス（JR 青森駅東口より徒歩 17 分）（Tel：017-732-7655/ 青森市長島 1-6-6）【会費】6000 円（句会・懇親会費込）【主催】おかじょうき川柳社



2025年6月1日発行（年12回発行）第30巻6号通巻375号
●発行人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風
青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3 ●E-Mail:info@okajoki.com

川柳ステーション



おかじょうき川柳社 Podcast
「おかポキ」公開録音！

川柳ステーション2025の会場でおかじょうき川柳社 Podcast 「おかポキ」を公開録音します！
当日の特選句をテーマに作者と選者の思考を深掘りしてみたいと思います。ですので、参加者の誰が出演するか誰にもわかりません（笑）
そんなユルユルな企画ですが、録音風景なんかもお楽しみくださればと思います（笑）

M.C. Sin・むさし／ゲスト：当日の特選者

【Podcast とは？】インターネットで聴ける音声配信のことです。ラジオと違い、いつでも好きなタイミングで聞くことができますのが特徴です。

事前投句（2句詠・二人共選・6/25 ㍻・欠席投句拝辞）

「声」 むさし・Sin 共選



宿題（2句詠・3人選）

「自由詠」

自由詠6句をご用意ください。当日、参加者から選者を3人発表しますので、それぞれの選者に2句ずつ提出してください。

2025.7.5 (土) 13:00 受付開始

- 場所：リッチモンドホテル 5F ブリリアンテラス（JR 青森駅東口より徒歩 17 分）
（TEL.0017-732-7655 / 青森県青森市長島 1-6-6）
- 会費：6,000 円（句会・懇親会費込）